



夕陽をバックに玄界島と柱島

8 前方に見えるおわん型の島は玄界島です。その左側に平らな島が大机島と小机島です。玄界島の右側の小さな島は柱島といいます。この岩肌が白っぽく見えませんか。これは渡り鳥たちの糞が長い期間かかって、岩肌を白くしたのです。付近では志賀島の入口近く、北海岸の二見岩で同じ岩肌を間近に見ることができます。また、玄界灘に沈む夕陽は日本で一番美しいといわれています。

9 ハマダイコンは海岸によく見られる越年草です。食用のダイコンが野生化したものといわれています。食べられますが実が硬すぎるので、食用としてはあまり適していません。



ハス

10 黄色の小さな花はウマノアシガタです。かわいらしい花なのにウマノアシガタという名前は合わない気がします。でも葉を良く見ると馬の脚形によく似ています。また、この池では根は水底の土壤に、茎・葉の一部が水上の空中に抽(ぬ)き出る抽水植物のヒメガマやハスも見ることができます。

歩行について

- ウォーキングは人それぞれのペースで楽しむことが大切です。
- スニーカーやウォーキングシューズなどの歩きやすい靴を着用しましょう。
- ウォーキングによって生じる疲労を回復するためには、休息をたっぷりとることが大切です。

編集/財団法人 休暇村協会 発行/休暇村 志賀島

0411 SHI-SK 50 SP



当誌配布率100%再生紙を使用しています

No.33

Q kamura

自然の小径

WALKING COURSE



ニューサマーオレンジ

休暇村 志賀島

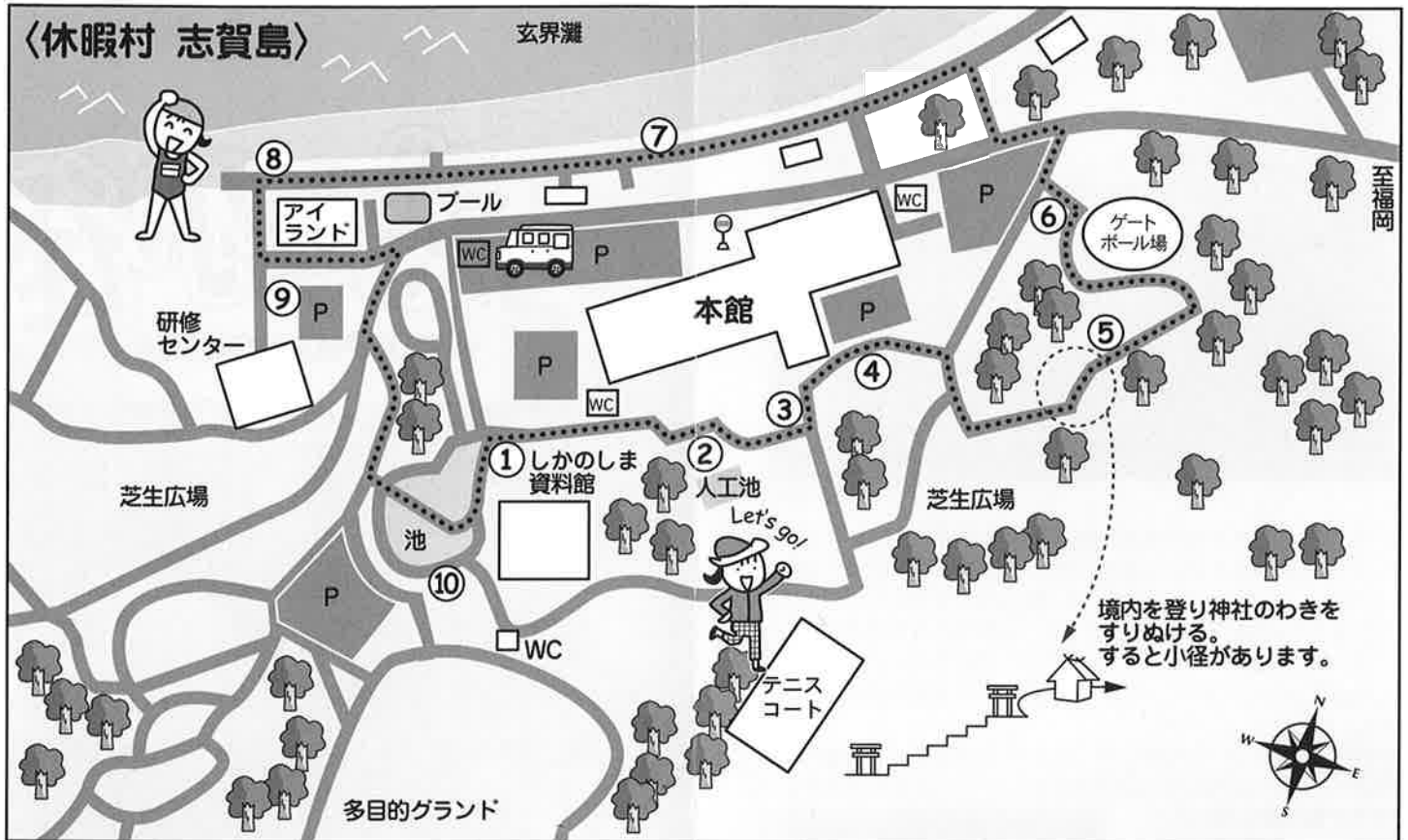
www.qkamura.or.jp/shikano

TEL.092-603-6631

FAX.092-603-6634

〒811-0325

福岡県福岡市東区勝馬1803-1



ポイント

●距離…約1.7km ●所要時間…約40分 ●解説地点…10ヶ所



しかのしま資料館

1 しかのしま資料館 (月曜休館9時~17時)では、自然解説などのパネルを展示しています。また、昔の生活用具や農業・漁業の道具・金印の資料等があります。

2 この人工池には、トンボのヤゴが生息しており、夏にはヤゴの抜け殻が多数見られます。また、池の奥には葉柄基部が丸くふくらむホテイアオイが見られます。



ホテイアオイ

3 ここではタラノキが見られます。落葉低木で3~4月に若葉がでて、莖や若い芽にトゲがあるのが特徴です。(若芽は食用)

自然の小径で見られる食べられる食物
ツクシ、ツワブキ、タラノキ、アケビ、ハマダイコン、グミ、マテバシイなど。

4 右前方の林を観察しましょう。松がたくさんみられますね。4月にはヤマザクラも目につきます。この林の中がどんなふうになっているのか行ってみましょう。このポイントでよく音を聞き、次のポイント5の音と聞き比べてみてください。

5 お稲荷様の階段沿いには、平戸ツツジが見られます。もっと奥の方へ行ってみましょう。ポイント4とここでの音はどんなふう違うでしょう。ポイント4では波の音、風の音、車の音、鳥の音が聞こえてきたと思います。どちらかといえば雑音に近い音ではないでしょうか。ポイント5では小枝の揺れる音、鳥の音がときおり聞こえてくるだけです。これは木立が外からの音を吸収するからです。これを遮蔽効果(しゃへいこうか)といいます。また、アカマツとクロマツが見られますが、区別ができるでしょうか。クロマツは幹が黒っぽく、アカマツは赤褐色をしています。注意深く観察してみましょう。

鳥の鳴き声がきこえます。何種類きこえますか?
ウグイス (チャチャ ケケケケケキョケキョ)
コジュケイ (ピッピィピィピィピィ ビィグウィー)
ヒヨドリ (ピッピィピィーヨピーヨ)
シジュウガラ (ツツピーツツピー ツツピンツツピン)
メジロ (チーチャー チルルル・・・)

6 常緑高木のマテバシイの種子は食べられます。拾ってきた種子を水の中に入れて、沈んだ種子だけを選び、よく水をきってフライパンでいります。

7 芝生の中に植栽されているトベラなど、海岸の木を注目してください。玄界灘から吹く風のために、海から道路側に傾斜しているのに気がつくと思います。これを風衝林(ふうしょうりん)といいます。